

令和元年度公開行政レビュー 事業評価シート

No	2	事業名	防災ラジオ普及事業
所属	危機管理課地域防災係	事業開始年度	平成25年度
事業内容	本市では、大地震や風水害による災害情報(緊急地震速報、市からの避難勧告及び避難指示、弾道ミサイル攻撃などの国民保護情報)等を強制的に発信できる防災ラジオの運用を平成25年度より行っています。本事業はその防災ラジオの普及を図るため、1世帯1台(2,000円)での販売及び啓発を行っています。		
目的	大地震や風水害による災害情報等を市民に迅速かつ的確に伝達します。		
関連事業			

【活動指標】

	平成30年度(実績)	令和元年度	令和2年度
防災ラジオの販売数	560台 (累計11,497台)	500台	800台

【成果指標】

	平成30年度(実績)	令和元年度	目標値:令和2年度
防災ラジオの普及率 (販売台数/年度末の世帯数)	15.3%	16.0%	17.1%

【事業費】

年間事業費等 の推移	No	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	①	事業費(決算額) (千円)	0	5,400	0
		報償費			
		需用費		5,400	
		役務費			
		委託料			
		使用料			
	②	人件費(従事職員数 × 6,300千円) 従事職員数 (人)	630 0.1	630 0.1	630 0.1
	③	総事業費(①+②) (千円)	630	6,030	630
財源内訳		一般財源 (千円)	630	6,030	630
		特定財源(など) (千円)			
		財源合計 (千円)	630	6,030	630

【実施状況】

活動実績	平成30年度	<p>広報あんじょう折込みチラシや市公式ホームページ掲載、公民館などで出張販売等啓発活動を行い560台を販売した。</p> <p>【主な啓発活動実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報あんじょう掲載 計2回掲載 <ul style="list-style-type: none"> 11月15日号 1月15日号 ・出張販売 5施設8回実施 合計361台(予約28台) <table border="0"> <tr> <td>桜井公民館</td> <td>2回</td> <td>(平日)</td> <td>123台</td> </tr> <tr> <td>北部公民館</td> <td>2回</td> <td>(平日)</td> <td>84台(予約12台)</td> </tr> <tr> <td>明祥公民館</td> <td>2回</td> <td>(平日)</td> <td>77台</td> </tr> <tr> <td>総合福祉センター</td> <td>1回</td> <td>(平日)</td> <td>37台</td> </tr> <tr> <td>アンフォーレ</td> <td>1回</td> <td>(土曜日)</td> <td>40台(予約16台)</td> </tr> </table> ・eモニターアンケート調査の実施 1回実施 ・各種イベントでの啓発 <ul style="list-style-type: none"> 安城市総合防災訓練 各自主防災訓練 24時間テレビ「愛は地球を救う」安城会場(アンフォーレ) <p>【防災ラジオから流れる情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急地震速報(安城市において震度4以上が予想される場合) ・市からの避難勧告、避難指示 ・国民保護情報(弾道ミサイル攻撃、大規模テロなどの有事情報) ・その他、大規模火災など市内の広範囲において、生命、身体及び財産に影響を及ぼす場合など 	桜井公民館	2回	(平日)	123台	北部公民館	2回	(平日)	84台(予約12台)	明祥公民館	2回	(平日)	77台	総合福祉センター	1回	(平日)	37台	アンフォーレ	1回	(土曜日)	40台(予約16台)
桜井公民館	2回	(平日)	123台																			
北部公民館	2回	(平日)	84台(予約12台)																			
明祥公民館	2回	(平日)	77台																			
総合福祉センター	1回	(平日)	37台																			
アンフォーレ	1回	(土曜日)	40台(予約16台)																			
平成29年度	広報あんじょう折込みチラシや市公式ホームページ掲載、公民館などで出張販売等啓発活動を行い480台を販売した。																					
改善取組 (これまでの改善内容)	平成28年度	広報あんじょう折込みチラシや市公式ホームページ掲載、公民館などで出張販売等啓発活動を行い704台を販売した。																				
		過去の販売実績を参考に販売場所の見直しを行っている。 防災ラジオの説明資料を改善し、分かり易くした。																				

【課題】

課題	活動実績・事業成果等を踏まえて記入
	スマートフォンの普及により、近年、多くの人が災害情報を受け取ることが可能になったが、より多くの命を救うためには、多様な手段を用いて確実に災害情報を伝達する必要がある。安城市はその手段の一つとして、防災ラジオを選択し、販売補助を実施しているが、世帯数の増加などの理由により、普及率としては伸び悩んでいる。

【論点】

公開行政レビューでの論点	安城市では、災害情報伝達の手段の一つとして、防災ラジオの販売を実施している。引き続き、普及率20%を目標に、防災ラジオを普及させていきたいが、どうか。
--------------	---

令和元年度公開行政レビュー 事業評価シート

【参考比較】

他市の 実施状況等	各市の現状	
	自治体	市民への販売金額
	安城市	2,000円
	刈谷市	市民2,000円 事業者5,000円
	知立市	市民2,000円 事業者3,000円
	高浜市	3,000円
	碧南市	—